



# 環境 データ編

## 1 気候変動の緩和と適応

### 温室効果ガス排出削減

#### ■ 温室効果ガス(全7ガス) 排出量(住友化学(全事業所))

(千トン-CO<sub>2</sub>e)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	エネルギー起源	2,559	2,405	2,454	2,543	2,722	2,645	2,549	2,537	2,322
	非エネルギー起源	55	50	93	155	142	157	146	137	217
メタン(CH <sub>4</sub> )		—	—	—	—	—	—	—	—	—
亜酸化窒素(N <sub>2</sub> O)		65	45	35	23	15	20	22	22	16
ハイドロフルオロカーボン(HFC)		—	—	—	—	4	4	—	—	—
パーフルオロカーボン(PFC)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
六フッ化硫黄(SF <sub>6</sub> )		—	—	—	—	—	—	—	—	—
三フッ化窒素(NF <sub>3</sub> )		—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)「省エネ法」「地球温暖化対策推進法」に準拠して算出



## 省エネルギー

## ■ 2023年度 エネルギー消費原単位の内訳 (住友化学)

	a エネルギー消費量 (千kl) [原油換算]	b 生産量 (千トン) [エチレン換算]	a/b 原単位
愛媛工場	412	594	0.693
千葉工場	368	301	1.223
大阪工場	22	14	1.556
大分工場*	54	39	1.406
三沢工場	11	10	1.160
大江工場	24	132	0.186
合計	891	1,089	0.819

(注)・「省エネ法」「地球温暖化対策推進法」に準拠して算出

・2022年度から加わった茨城工場は対象外とする。

なお、同工場のエネルギー消費量、延床面積および原単位はそれぞれ5千kl[原油換算]、17千m<sup>2</sup>および0.301

※ 大分工場は、岐阜プラント、岡山プラントを含む

■ 2023年度 エネルギー消費量およびCO<sub>2</sub>排出量 (住友化学 (全事業所) および国内グループ会社)

	エネルギー消費量 (千kl-原油換算)	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量 (千トン)
住友化学	909	2,322
工場部門	897	2,298
本社、研究所などの事務所部門	12	24
住友化学および国内グループ会社	1,437	3,661
工場部門	1,408	3,607
本社、研究所などの事務所部門	29	54

(注)・「省エネ法」「地球温暖化対策推進法」に準拠して算出

・集計対象は、住友化学連結売上高99.8%以内の主要な国内連結グループ会社



## 2 資源循環への貢献、自然資本の持続可能な利用

### 環境パフォーマンス

住友化学は、当社と国内・海外グループ会社を対象に、エネルギー、資源投入量、製品生産量、さらには大気・水域などへの環境負荷などのデータを集計し、活動量の把握に努めています。

#### ■ 2021～2023年度 環境パフォーマンス(住友化学および国内グループ会社)

##### INPUT エネルギー・資源投入



水

(百万トン)

	2021年度	2022年度	2023年度
工業用水	70.5	69.5	68.7
上水道	0.9	0.8	0.8
海水	862	763	606.6
地下水	25.5	26.3	22.2
その他	2.7	2.5	2.3
合計	962	863	701

エネルギー  
原油換算

(千kl)

	2021年度	2022年度	2023年度
燃料・熱・電力 <sup>※1</sup>	1,801	1,634	1,437

(千トン)

	2021年度	2022年度	2023年度
炭化水素系化合物	1,713	1,684	1,451
金属(レアメタル除く) <sup>※2</sup>	115	104	85
レアメタル <sup>※3</sup>	17.4	16.2	15



枯渇性原材料

### PCB・フロン関連保有状況

	2021年度	2022年度	2023年度
高濃度PCB含有電機機器台数 <sup>※4</sup>	0	0	0
PCB保有量(純分換算)(kl) <sup>※4</sup>	0	0	0
CFCを冷媒にする冷凍機台数	27	20	24
HCFCを冷媒にする冷凍機台数	286	277	214

(注) P110に記載の環境パフォーマンスの集計対象会社数は、年度ごとにそれぞれ以下のとおり

2021年度：住友化学および国内グループ会社 22社：計23社

2022年度：住友化学および国内グループ会社 21社：計22社

2023年度：住友化学および国内グループ会社 22社：計23社

※1 エネルギー(原油換算)の指標は、2017年度実績よりGHGプロトコルに基づいて(P197「環境・社会データ算定基準」参照)算定している

※2 鉄、金、銀、銅、亜鉛、アルミニウム、鉛、白金、チタン、パラジウム、ガリウム、リチウムの12金属が集計対象

※3 レアメタル(希少金属)のうち供給構造が極めて脆弱で、国家備蓄を行っているニッケル、クロム、タングステン、コバルト、モリブデン、マンガン、バナジウムの7金属が集計対象

※4 蛍光灯・水銀灯安定器、汚染物(ウエスなど)は、台数および保有量に含んでいない



OUTPUT 製品の生産と環境負荷



製品

(千トン)

	2021年度	2022年度	2023年度
生産量(エチレン換算) <sup>※1</sup>	2,613	2,413	1,963



水域排出

(トン)

	2021年度	2022年度	2023年度	
COD	海域・河川	960	825	641
	下水道	207	175	137
全リン	海域・河川	36.1	32.0	24.9
	下水道	5.9	6.1	5.0
全窒素	海域・河川	1,303	1,236	1,057
	下水道	68.6	47.8	27.2
PRTR法対象物質	11.1	13.3	13.6	



排水

(百万トン)

	2021年度	2022年度	2023年度
総排水量	920	809	658

(注) 総排水量には、住友共同電力株式会社の海水排水量を含め、集計



廃棄物排出

(千トン)

	2021年度	2022年度	2023年度
処理委託量 <sup>※2</sup>	276	232	157
廃棄物埋立量 <sup>※2</sup>	30.7	21.9	14.9
(内訳)			
事業所内埋立	0	0	0
事業所外埋立	30.7	21.9	14.9



大気排出

(千トン-CO<sub>2</sub>e)

	2021年度	2022年度	2023年度
温室効果ガス(全7ガス) <sup>※3</sup>	6,241	5,418	4,119
CO <sub>2</sub> (エネルギー起源)	5,435	4,639	3,661
(非エネルギー起源)	655	633	382
CH <sub>4</sub>	6	6	—
N <sub>2</sub> O	143	137	75
HFC	2	3	1
PFC	—	—	—
SF <sub>6</sub>	—	—	—
NF <sub>3</sub>	—	—	—

その他

(トン)

	2021年度	2022年度	2023年度
NO <sub>x</sub>	3,901	3,783	2,597
SO <sub>x</sub>	3,896	3,098	1,958
ばいじん	173	167	127
PRTR法対象物質 <sup>※4</sup>	420	404	635

(注)P111に記載の環境パフォーマンスの集計対象会社数は、年度ごとにそれぞれ以下のとおり

2021年度：住友化学および国内グループ会社 22社：計23社

2022年度：住友化学および国内グループ会社 21社：計22社

2023年度：住友化学および国内グループ会社 22社：計23社

※1 生産品目によっては重量ベースでの取りまとめが困難なものがあるため、一定の条件を仮定し推算している

※2 住友化学および国内グループ会社の処理委託量、廃棄物埋立量に含まれる住友共同電力株式会社の石炭灰は乾燥重量ベース

※3 温室効果ガス(全7ガス)の指標は、2017年度実績よりGHGプロトコルに準拠(P197「環境・社会データ算定基準」参照)し、売上99.8%以内の主要な国内連結グループ会社について算定している。

※4 PRTR法に定める対象物質ごとの大気排出量および公共用水域排出量の数値を使用

■ 環境法規制の遵守

(円)

	2021年度	2022年度	2023年度
罰金総計	0	0	0

(注) 集計対象は、住友化学および国内グループ会社 22社：計23社

【国内グループ会社22社生産工場】

(住化加工紙株式会社、住化カラー株式会社、住化プラステック株式会社、日本エイアンドエル株式会社、朝日化学工業株式会社、株式会社セラテック、住化アッセンブリーテクノ株式会社、サンテラ株式会社、住化アグロ製造株式会社、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、住化農業資材株式会社、住化ポリカーボネート株式会社、日本メジフィジックス株式会社、住友共同電力株式会社、広栄化学株式会社、田岡化学工業株式会社、株式会社田中化学研究所、住友ファーマ株式会社、エスエヌ化成株式会社、株式会社サンリッツ、住化高純度ガス有限公司、住化宏和テック株式会社)



## 環境会計による環境保全コストと経済効果の評価

住友化学は、環境保全に関わる投資・費用と効果を定量的・継続的に把握し、それを適切に評価する「環境会計」を2000年度から導入しています。

### ◆ 環境会計のポイント

- ① 対象期間：国内グループ会社：2023年4月1日～2024年3月31日 海外グループ会社：2023年1月1日～2023年12月31日
- ② 集計範囲：住友化学および主要な連結子会社21社（国内16社、海外5社）※ 計22社
- ③ 構成（分類）：環境省のガイドラインを参考
- ④ 結果の概要（投資額・費用額）：連結での投資額、費用額は、それぞれ前年度比46億円の減少、1億円の増加となりました。

### ■ 環境保全コスト

(億円)

分類	主な取り組み内容	2022年度				2023年度			
		単体		連結		単体		連結	
		投資額	費用額	投資額	費用額	投資額	費用額	投資額	費用額
事業所エリア内コスト		42	238	73	368	14	237	29	368
内 訳	環境対策コスト	(10)	(178)	(34)	(231)	11	179	19	237
	地球環境保全コスト	(0)	(3)	(4)	(43)	0	2	5	38
	資源循環コスト	(32)	(58)	(35)	(95)	3	56	4	93
上・下流コスト	グリーン購入、製品などのリサイクル・回収・再商品化・適正処理、容器包装などのリサイクル費用、環境保全対応の製品・サービスなど	0	1	0	4	0	1	0	3
管理活動コスト	環境教育、環境マネジメントシステム運用、環境負荷監視・測定システム、環境組織運用など(P128-129)	0	9	0	15	0	8	0	15
研究開発コスト	環境安全を配慮した製品の開発、省エネルギープロセスの検討業務など(P021-026)	1	95	1	97	0	99	0	100
社会活動コスト	自然保護・緑化・美化・景観保持、地域住民の環境活動支援、環境保全を行う団体などへの支援、環境関連の拠出金・課徴金など	0	4	0	9	0	4	0	7
環境損傷コスト	汚染・自然破壊などの修復、環境損傷に対するコストなど	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		43	347	75	493	14	349	29	494

※ 住友ファーマ株式会社、広栄化学株式会社、田岡化学工業株式会社、朝日化学工業株式会社、住友共同電力株式会社、住化カラー株式会社、日本メジフィジックス株式会社、日本エイアンドエル株式会社、サンテラ株式会社、住化加工紙株式会社、住化農業資材株式会社、株式会社セラテック、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、エスエヌ化成株式会社、住化アグロ製造株式会社、住化プラスチック株式会社、Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd.、Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd、The Polyolefin Company (Singapore) Pte. Ltd.、Sumika Technology Co., Ltd.、Sumika Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd.

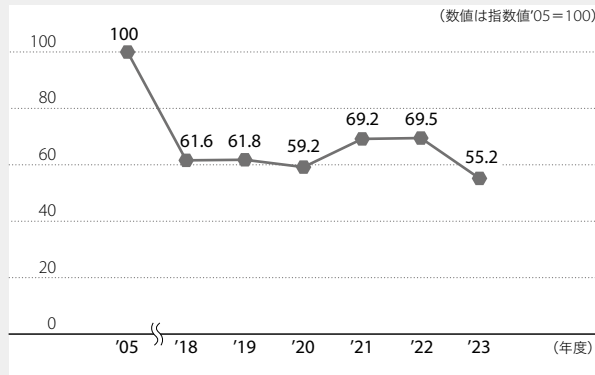


## ■ 経済効果

(億円)

効果の内容	2022年度		2023年度	
	単体	連結	単体	連結
省エネルギーによる費用削減	1	2	12	15
省資源による費用削減	4	7	4	19
リサイクル活動による費用削減	40	45	50	64
合計	45	55	65	98

## ■ 環境保全費用効率の推移(住友化学(全事業所))



(注) 算定の精緻化の結果、2022年度の環境保全費用効率は92.3から69.5に変更

2005年度から「費用対効果の追求による環境保全費用の効率の改善」の検討に着手しています。環境保全費用の内訳を解析・評価するとともに、重要度についても検討を加え、より効率的な取り組みを実現していきたいと考えています。なお、生産活動の実態をより反映させるため、「環境保全の取り組みに要する総費用額あたりの年間総生産高」の指標を環境保全費用効率として採用しています。



## 公害防止 SOx、NOx、ばいじんの大気排出量

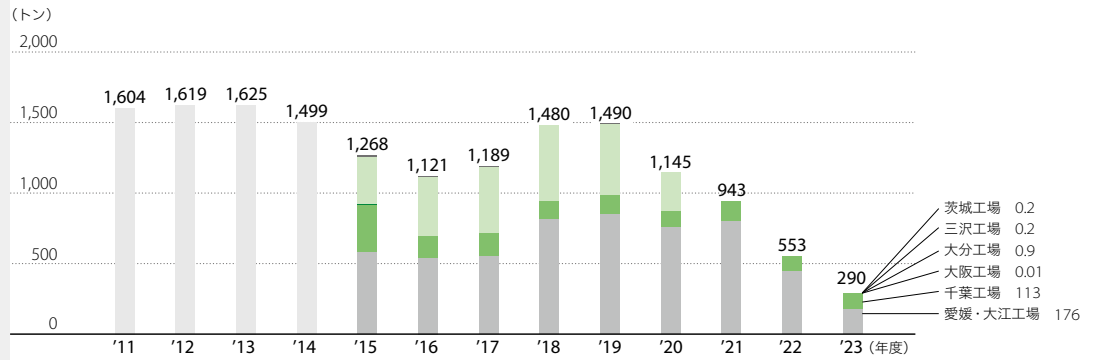
SOx、NOx、ばいじんの大気排出は、1970年以降大幅な削減を達成し、80年以降、現在まで低水準の排出量を維持しています。また、各工場では、法による規制よりも厳しい協定値を自治体と締結し、この値を自主管理基準値としています。

(注) 岐阜プラント、岡山プラントのデータは2004～2012年度は大阪工場に、2013年度以降は大分工場に含む

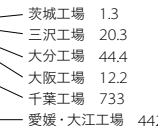
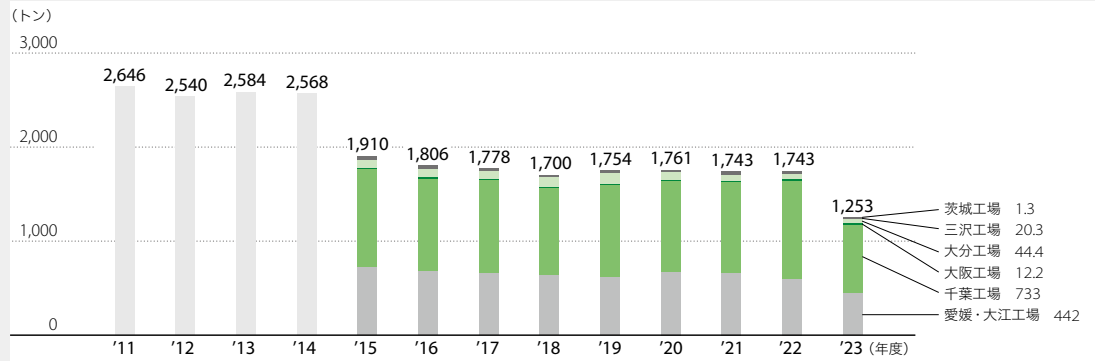
目標

自主管理基準値以下の維持・継続に努める

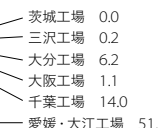
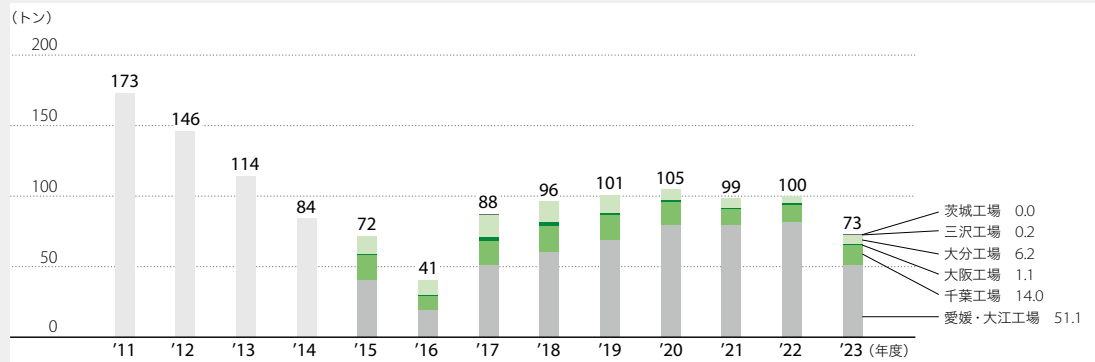
### SOx排出量(住友化学)



### NOx排出量(住友化学)



### ばいじん排出量(住友化学)





## COD、窒素、リンの水域排出量

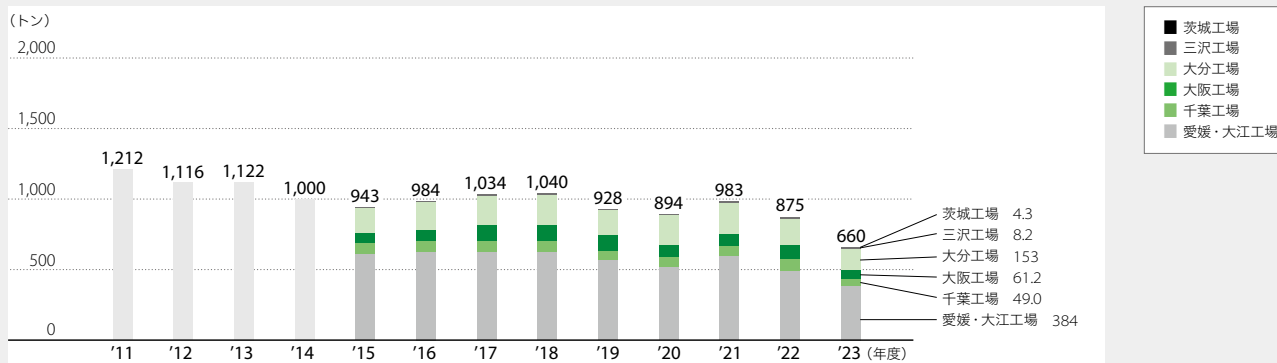
COD、窒素、リンの水域排出は、第5次水質総量規制を踏まえた排出削減諸施策の実施により、2004年度以降、大きく削減しています。また、各工場では、法による規制よりも厳しい協定値を自治体と締結し、この値を自主管理基準値としています。

(注) 岐阜プラント、岡山プラントのデータは 2004～2012年度は大阪工場に、2013年度以降は大分工場に含む

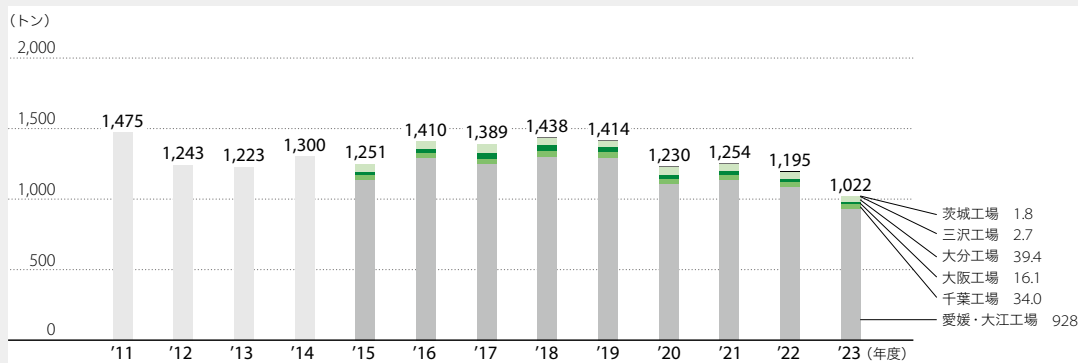
目標

自主管理基準値以下の維持・継続に努める

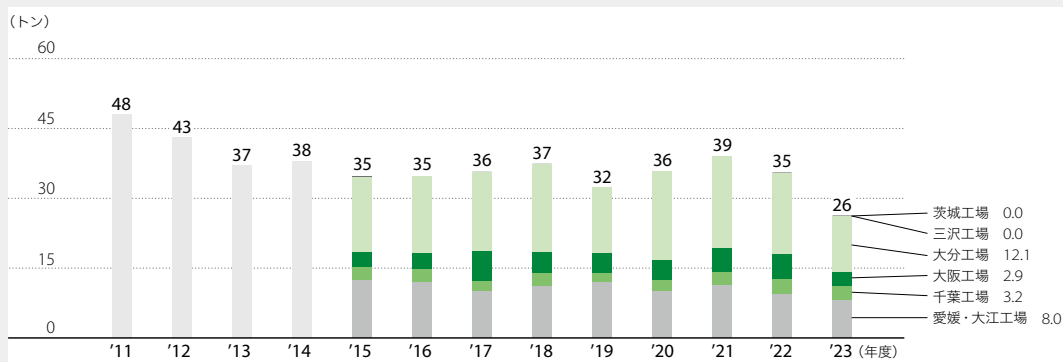
### ■ COD排出量(水域排出は下水道への排水を含む)(住友化学)



### ■ 全窒素排出量(住友化学)



### ■ 全リン排出量(住友化学)



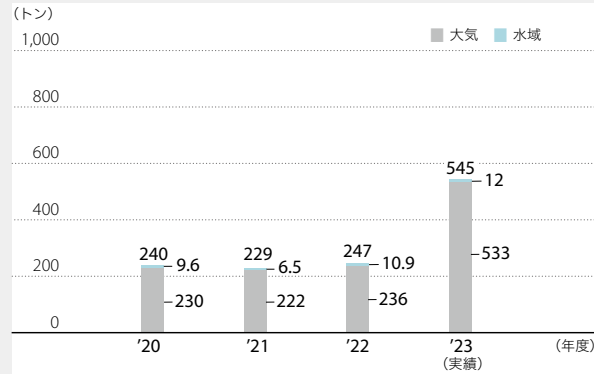




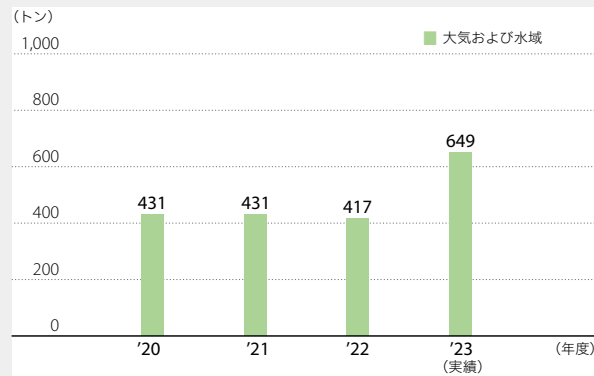
## PRTR、VOC対応

### PRTR法対象物質<sup>※1</sup> 排出量の推移

(住友化学)



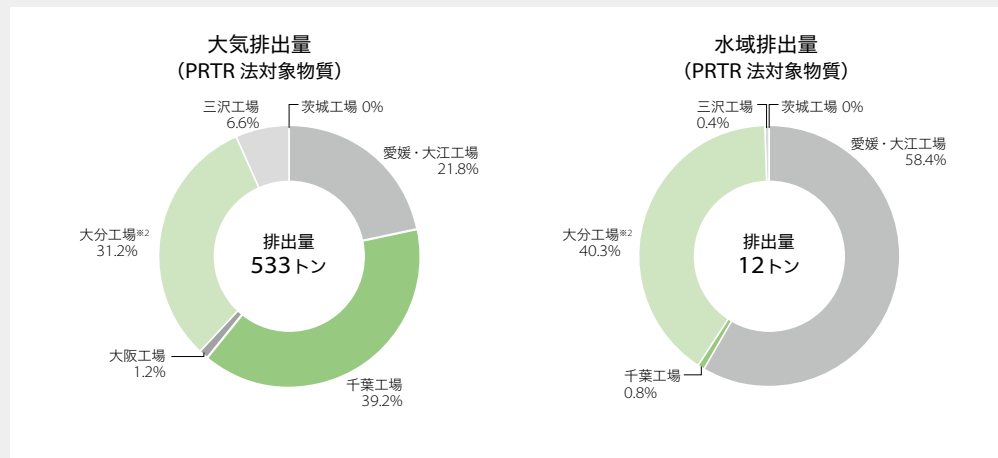
(住友化学および国内グループ会社)



### 2023年度 PRTR調査物質<sup>※1</sup> の排出・移動量の内訳 (住友化学および国内グループ会社) (トン)

	排出量			移動量		
	大気	水域	小計	下水道	廃棄	小計
PRTR法対象物質						
住友化学 (150物質)	533	12	545	4.2	4,145	4,149
住友化学および国内グループ会社	635	14	649	6.0	6,554	6,560

### 2023年度 PRTR法対象物質<sup>※1</sup> の排出量の工場別内訳 (住友化学)

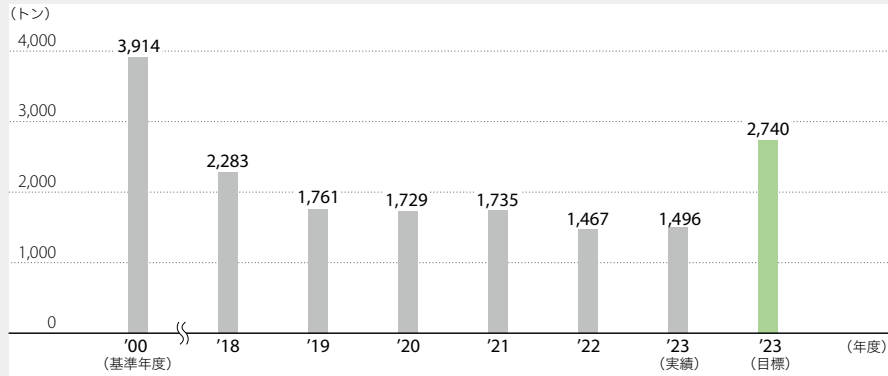


※2 大分工場は岐阜プラント、岡山プラントを含む

※1 2023年4月1日からPRTR法対象物質が354物質から462物質に拡大



### ■ VOC(揮発性有機化合物) 排出削減の取り組み(住友化学)



**目標** VOC排出量は2000年度比30%削減を維持

**実績** 2023年度の排出量は2000年度比61.8%削減の1,496トンとなり、目標を達成

### フロン対応

#### ■ フロン類算定漏洩量(住友化学(全事業所))

(トン-CO<sub>2</sub>e)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
算定漏洩量	9,354	4,362	5,100	5,844	4,051

#### ■ CFCおよびHCFC冷凍機の管理状況(住友化学および国内グループ会社) 2023年度末

(台)

	住友化学	住友化学および国内グループ会社
CFC11	5	5
CFC12	10	17
CFC13	0	0
CFC115	2	2
HCFC22	32	190
HCFC123	16	23
HCFC124	1	1

**目標**

- ・CFCを冷媒とする冷凍機の使用を2025年度までに全廃
- ・HCFCを冷媒とする冷凍機の使用を2045年度までに全廃

▶ P103 大気環境保全



## PRTR対応 (PRTR法施行令 (2008年11月21日公布) 対応)

2023年4月1日からPRTR法対象物質が354物質から462物質に拡大

(トン)[ダイオキシン類のみmg-TEQ]

No. 化学物質名	排出量					移動量		
	大気	水域	土壌	埋立	総計	下水道	廃棄物	総計
1 亜鉛の水溶性化合物	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	106.4	106.4
2 アクリル酸およびその水溶性塩	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
3 アクリル酸メチル	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
4 アクリロニトリル	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0
5 アクロレイン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 アセトアルデヒド	0.1	<0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
7 アニリン	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	46.0	46.0
8 2-アミノエタノール	<0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	29.0	29.0
9 5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-3-シアノ-4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]ピラゾール(別名: フィプロニル)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10 アリルアルコール	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
11 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12 イソブレン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13 O-エチル=O-(6-ニトロ-メタ-トリル)=セカンダリ-ブチルホスホリアミドチオアート(別名: プタミホス)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14 O-エチル=O-4-ニトロフェニル=フェニルホスホチオアート(別名: EPN)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15 エチルベンゼン	2.1	0.1	0.0	0.0	2.2	0.0	21.6	21.6
16 エピクロロヒドリン	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0
17 1,2-エポキシプロパン(別名: 酸化プロピレン)	0.0	<0.1	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
18 1-オクタノール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
19 カドミウムおよびその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20 キシレン	3.5	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	22.1	22.1
21 キノリン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
22 クメン	2.2	<0.1	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0
23 クレゾール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24 クロムおよび三価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25 六価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
26 クロロエチレン(別名: 塩化ビニル)	21.3	0.0	0.0	0.0	21.3	0.0	0.0	0.0
27 クロロ酢酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
28 クロロジフルオロメタン(別名: HCFC-22)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0

(トン)[ダイオキシン類のみmg-TEQ]

No. 化学物質名	排出量					移動量		
	大気	水域	土壌	埋立	総計	下水道	廃棄物	総計
29 2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-1,3,5-トリアジン(別名: シマジンまたはCAT)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30 3-クロロプロペン(別名: 塩化アリル)	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	17.8	17.8
31 クロロベンゼン	6.2	<0.1	0.0	0.0	6.2	0.0	114.4	114.4
32 クロロホルム	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	210.2	210.2
33 酢酸2-エトキシエチル(別名: エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
34 酢酸ビニル	20.6	<0.1	0.0	0.0	20.6	0.0	0.0	0.0
35 無機シアン化合物(錯塩およびシアン酸塩を除く)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
36 ジエタノールアミン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
37 N,N-ジエチルチオカルバミン酸S-4-クロロベンジル(別名: チオベンカルブまたはベンチオカーブ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
38 四塩化炭素	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
39 1,4-ジオキサン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	115.7	115.7
40 シクロヘキサン	39.1	0.0	0.0	0.0	39.1	0.0	<0.1	<0.1
41 シクロヘキサ-1-エン-1,2-ジカルボキシイミドメチル=(1RS)-シス-トランス-2,2-ジメチル-3-(2-メチルプロパ-1-エニル)シクロプロパンカルボキシラート(別名: テトラメトリン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
42 シクロヘキシルアミン	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	3.6	3.6
43 1,2-ジクロロエタン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
44 1,1-ジクロロエチレン(別名: 塩化ビニリデン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
45 ジクロロジフルオロメタン(別名: CFC-12)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
46 2,2-ジクロロ-1,1,1-トリフルオロエタン(別名: HCFC-123)	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
47 1,2-ジクロロプロパン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	426.0	426.0
48 1,3-ジクロロプロペン(別名: D-D)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
49 ジクロロベンゼン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.8	68.8
50 ジクロロメタン(別名: 塩化メチレン)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	21.6	21.6
51 N,N-ジシクロヘキシルアミン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
52 ジシクロペンタジエン	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	8.4	8.4
53 ジチオリン酸O,O-ジメチル-S-1,2-ビス(エトキシカルボニル)エチル(別名: マラソン又はマラチオン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
54 ジチオリン酸O,O-ジメチル-S-[(N-メチルカルバモイル)メチル](別名: ジメトエート)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
55 2,4-ジニトロフェノール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.4	39.4
56 2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	0.0	<0.1	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.2	0.2





(トン)[ダイオキシンのみmg-TEQ]

No. 化学物質名	排出量					移動量			
	大気	水域	土壌	埋立	総計	下水道	廃棄物	総計	
125 (S)-アルファ-シアノ-3-フェノキシベンジル = (S)-2-(4-クロロフェニル)-3-メチルブチラート(別名: エスフェンバレレート)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
126 アクリル酸2-エチルヘキシル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
127 アルカン-1-アミン(アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が8、10、12、14、16又は18のもの及びその混合物に限る。)のオキシラン重付加物、(Z)-オクタデカ-9-エン-1-アミンのオキシラン重付加物及び(9Z,12Z)-オクタデカ-9,12-ジエン-1-アミンのオキシラン重付加物の混合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
128 アルファ-アルキル-オメガ-ヒドロキシポリ(オキシエタン-1,2-ジイル)(アルキル基の炭素数が16から18までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が1,000未満のものに限る。)及びアルファ-アルケニル-オメガ-ヒドロキシポリ(オキシエタン-1,2-ジイル)(アルケニル基の炭素数が16から18までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が1,000未満のものに限る。)並びにこれらの混合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
129 アルファ-アルキル-オメガ-ヒドロキシポリ[オキシエタン-1,2-ジイル/オキシ(メチルエタン-1,2-ジイル)](アルキル基の構造が分枝であり、かつ、当該アルキル基の炭素数が9から11までのものの混合物(当該アルキル基の炭素数が10のものを主成分とするものに限る。)に限る。)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
130 5-エチル-5,8-ジヒドロ-8-オキソ-[1,3]ジオキソロ[4,5-g]キノリン-7-カルボン酸(別名: オキソリニック酸)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
131 エチレンジアミン四酢酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
132 オクタメチルシクロテトラシロキサン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
133 1-(2-クロロイミダゾ[1,2-a]ピリジン-3-イルスルホニル)-3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)尿素(別名: イマゾスルフロン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
134 (RS)-5-クロロ-N-(1,3-ジヒドロ-1,1,3-トリメチルイソベンゾフラン-4-イル)-1,3-ジメチル-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド(別名: フラメトピル)	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	

(トン)[ダイオキシンのみmg-TEQ]

No. 化学物質名	排出量					移動量			
	大気	水域	土壌	埋立	総計	下水道	廃棄物	総計	
135 (E)-1-(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)-3-メチル-2-ニトログアニジン(別名: クロチアニジン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
136 1,2-ジクロロエチレン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
137 O-(2,6-ジクロロ-パラ-トリル)=O,O-ジメチル=ホスホロチオアート(別名: トルクロホスメチル)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
138 N-(3,5-ジクロロフェニル)-1,2-ジメチルシクロプロパン-1,2-ジカルボキサミド(別名: プロシミドン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	
139 1,2-ジメトキシエタン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	
140 チオりん酸O-4-シアノフェニル-O,O-ジメチル(別名: シアノホス又はCYAP)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
141 トリメチルベンゼン	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	
142 鉛及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
143 パラホルムアルデヒド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
144 N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)アルカンアミド(アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が8、10、12、14、16又は18のもの及びその混合物に限る。)、(Z)-N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)オクタデカ-9-エンアミド及び(9Z,12Z)-N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)オクタデカ-9,12-ジエンアミド並びにこれらの混合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
145 (1-ヒドロキシエタン-1,1-ジイル)ジホスホン酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	
146 1-ヘキセン	127.5	0.0	0.0	0.0	127.5	0.0	0.0	0.0	
147 ヘプタン	51.9	<0.1	0.0	0.0	51.9	0.0	67.9	67.9	
148 無水酢酸	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	42.3	42.3	
149 メチルイソブチルケトン	142.0	0.1	0.0	0.0	142.1	0.1	150.5	150.6	
150 2-(2-メトキシエトキシ)エタノール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計	533	12	0.0	0.0	545	3.8	4,140	4,144	



## 廃棄物削減

### ■ PCBの回収・保管・処理 (住友化学および国内グループ会社)

高濃度PCB廃棄物の管理状況 2023年度末

	PCB廃棄物台数			PCB量 (kl)
	計	保管	使用	
住友化学	0	0	0	0
住友化学および国内グループ会社	0	0	0	0

(注) PCB量 (PCB純分換算量)に低濃度PCB廃棄物分は含まず  
また、蛍光灯・水銀灯安定器、汚染物 (ウエスなど)に分類される高濃度PCB廃棄物は集計の対象外

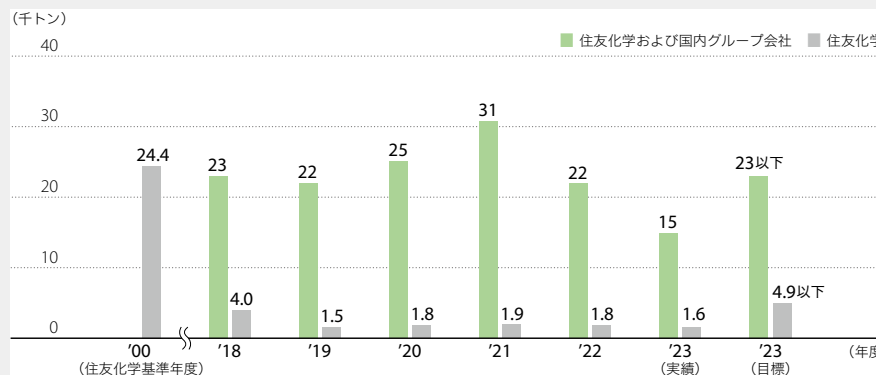
**目標** 高濃度PCB廃棄物の適正な回収・保管に努め、早期に処理を完了

**実績** 住友化学：2020年度末で保管、使用していた高濃度PCB廃棄物処理を完了  
国内グループ会社：2021年度末で保管、使用していた高濃度PCB廃棄物の処理を完了

「PCB特別措置法」に基づき、保有する高濃度PCB廃棄物\*を適正に回収し、特別管理産業廃棄物として倉庫内に保管場所を定め、厳重に保管しています。住友化学では、これらのPCB廃棄物について同法が定めた処理期限を前倒しして、全数の処理を完了しました。

\* 変圧器、コンデンサなどの絶縁油にPCBを使用する電気機器

### ■ 廃棄物埋立量 (住友化学および国内グループ会社)



**目標** 住友化学は、2000年度の埋立量実績から80%削減の4.9千トン、住友化学および国内グループ会社としては2020年度の埋立量実績の23千トンの以下の水準を維持

**実績** 住友化学、住友化学および国内グループ会社ともに目標を達成

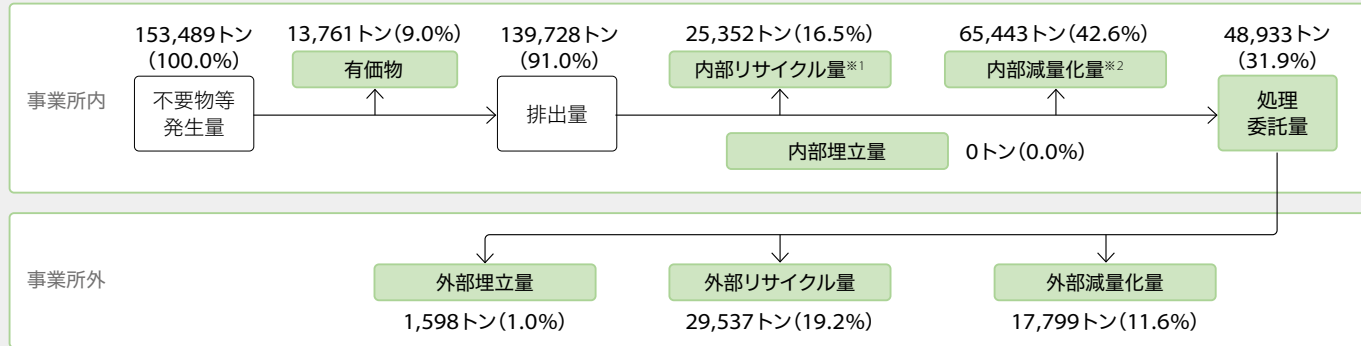
### ■ 廃棄物処理法の産業廃棄物管理票 (マニフェスト)の電子化 (住友化学)

	データ交付数 (枚)	データ電子化数 (枚)	電子化率 (%)
2016年度	19,868	19,594	99
2017年度	19,858	19,585	99
2018年度	20,598	20,355	99
2019年度	19,835	19,726	99
2020年度	20,735	20,675	99
2021年度	23,027	22,961	99
2022年度	22,196	22,179	99
2023年度	20,423	20,409	99

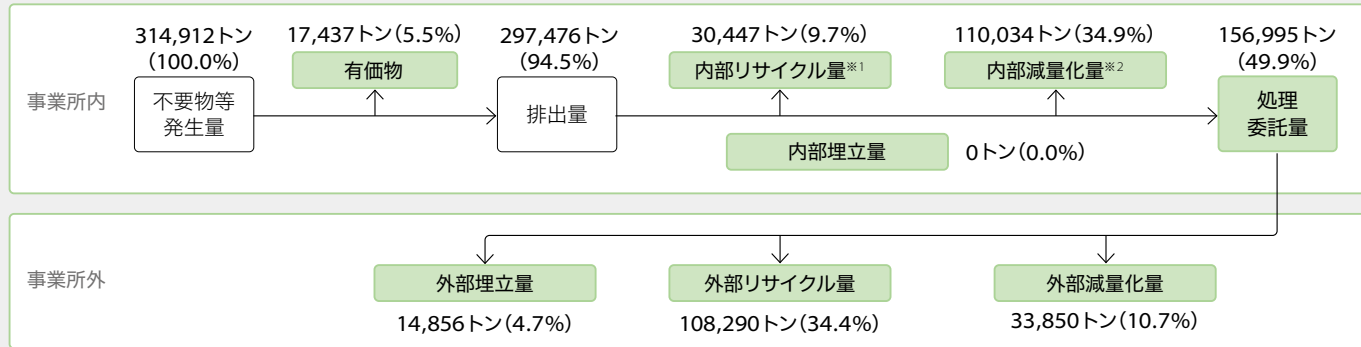
事務の効率化、コンプライアンスの徹底、さらにはデータの透明性といった観点からマニフェストの電子化を推進しています。



■ 廃棄物処理フローと2023年度実績  
(住友化学)



(住友化学および国内グループ会社)



(注) 住友化学および国内グループ会社の廃棄物発生量は、海外グループ会社を含むグループ全体の約80%

※1 リサイクル量：再使用、再利用もしくは熱回収された廃棄物の総量

※2 減量化量：焼却などで減量化された廃棄物の総量



■ 廃棄物処理に係る品目別処分 2023 年度実績一覧表  
(住友化学)

(トン)

種類	排出量	内部リサイクル量		内部減量化量		処理委託量	内部埋立量	外部減量化量	外部リサイクル量		外部埋立量	有価物
		再使用・再利用	熱回収	焼却	その他				再使用・再利用	熱回収		
燃え殻	4,855.4	0.0	0.0	0.2	0.0	4,855.2	0.0	0.0	4,380.5	0.0	474.7	0.0
汚泥	40,427.9	0.1	7,045.1	15,839.6	1,826.1	15,717.0	0.0	4,431.7	10,515.4	439.9	329.8	0.0
廃油	33,539.3	2,863.5	8,933.2	10,499.2	0.0	11,243.4	0.0	5,350.9	4,869.8	870.0	152.9	204.0
廃酸	6,807.0	0.0	1.9	4,506.8	783.0	1,515.2	0.0	1,337.3	108.4	37.4	32.1	537.9
廃アルカリ	46,041.3	6,104.8	19.6	30,548.1	0.0	9,368.7	0.0	5,750.1	2,773.6	690.8	154.1	63.0
廃プラスチック類	4,420.6	0.0	329.8	529.0	0.0	3,561.7	0.0	477.0	2,560.2	210.7	314.3	6,030.4
紙くず	997.4	0.0	53.7	810.0	0.0	133.7	0.0	0.8	132.9	0.0	0.0	178.8
木くず	820.2	0.0	0.0	100.7	0.0	719.4	0.0	37.0	397.0	284.1	1.4	5.6
繊維くず	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	4.5	0.8	0.0	0.0	0.0
動植物性残渣	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
金属くず	1,023.7	0.0	0.0	0.2	0.0	1,023.4	0.0	111.7	902.3	0.0	9.4	3,318.5
ガラス・陶磁器くず	440.2	0.0	0.0	0.0	0.0	440.2	0.0	53.3	309.8	53.3	23.8	0.0
鋳さい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
がれき類	317.1	0.0	0.0	0.0	0.0	317.1	0.0	236.1	0.0	0.0	81.0	0.0
ばいじん	24.4	0.0	0.0	0.0	0.0	24.4	0.0	0.0	0.0	0.0	24.4	3,422.9
合計	139,728	8,968	16,384	62,834	2,609	48,933	0	17,799	26,951	2,586	1,598	13,761





(住友化学および国内グループ会社)

(トン)

種類	排出量	内部リサイクル量		内部減量化量		処理委託量	内部埋立量	外部減量化量	外部リサイクル量		外部埋立量	有価物
		再使用・再利用	熱回収	焼却	その他				再使用・再利用	熱回収		
燃え殻	8,238.1	0.0	0.0	0.2	0.0	8,238.0	0.0	2.2	6,535.8	1.0	1,699.0	0
汚泥	81,384.6	0.1	7,045.1	15,839.6	35,630.4	22,869.4	0.0	8,369.1	11,733.1	770.4	1,996.6	83
廃油	41,556.2	2,884.5	14,007.2	10,499.2	0.0	14,165.4	0.0	6,623.0	5,419.7	1,960.9	162.1	818
廃酸	8,589.8	0.0	1.9	4,506.8	783.0	3,298.1	0.0	2,056.8	329.9	867.7	43.8	538
廃アルカリ	68,398.8	6,104.8	19.6	41,334.8	0.0	20,939.5	0.0	15,028.8	3,776.4	1,852.2	282.0	63
廃プラスチック類	8,279.8	0.0	329.8	529.0	0.0	7,421.0	0.0	1,096.7	4,809.9	587.0	927.9	7,893
紙くず	1,878.0	0.0	53.7	810.0	0.0	1,014.3	0.0	128.7	873.3	1.7	10.6	711
木くず	1,090.2	0.0	0.0	100.7	0.0	989.5	0.0	66.2	596.8	322.0	4.5	6
繊維くず	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	4.5	0.8	0.0	0.0	0
動植物性残渣	11.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6	0.0	8.3	0.0	3.4	0.0	0
金属くず	1,147.8	0.0	0.0	0.2	0.4	1,147.2	0.0	161.5	967.3	0.6	17.8	3,870
ガラス・陶磁器くず	502.0	0.0	0.0	0.0	0.0	502.0	0.0	68.0	324.9	56.1	53.0	1
鋳さい	25.2	0.0	0.0	0.0	0.0	25.2	0.0	0.0	0.0	0.0	25.2	0
がれき類	580.8	0.0	0.0	0.0	0.0	580.8	0.0	236.1	0.9	0.0	343.8	0
ばいじん	75,787.4	0.0	0.0	0.0	0.0	75,787.4	0.0	0.0	66,498.0	0.0	9,289.4	3,454
合計	297,476	8,989	21,457	73,620	36,414	156,995	0	33,850	101,867	6,423	14,856	17,437

■ 2023年度 有害廃棄物\*・非有害廃棄物の区分

(住友化学)

(トン)

種類	排出量	内部リサイクル量		内部減量化量		処理委託量	内部埋立量	外部減量化量	外部リサイクル量		外部埋立量
		再使用・再利用	熱回収	焼却	その他				再使用・再利用	熱回収	
非有害廃棄物	53,340	0	7,429	17,280	1,826	26,806	0	5,361	19,199	988	1,259
有害廃棄物	86,388	8,968	8,955	45,554	783	22,127	0	12,438	7,752	1,598	339

(住友化学および国内グループ会社)

(トン)

種類	排出量	内部リサイクル量		内部減量化量		処理委託量	内部埋立量	外部減量化量	外部リサイクル量		外部埋立量
		再使用・再利用	熱回収	焼却	その他				再使用・再利用	熱回収	
非有害廃棄物	178,931	0	7,429	17,280	35,631	118,592	0	10,141	92,341	1,742	14,368
有害廃棄物	118,545	8,989	14,029	56,341	783	38,403	0	23,709	9,526	4,681	488

※ 廃油 (廃有機溶媒を含む)、廃アルカリ、廃酸



## 廃棄物、廃プラスチックの再生利用化の取り組み

住友化学では、廃棄物、廃プラスチックの再生利用化に積極的に取り組んでいます。

### ■ 廃棄物全体の再生利用化の実績<sup>※1</sup>

(住友化学)

(トン)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
排出量	171,683	165,011	164,492	189,499	174,602	139,728
内部再利用率	40,772	7,450	6,383	16,602	16,906	8,968
内部熱回収	16,480	24,179	23,382	28,798	22,324	16,384
処理委託量	51,827	49,597	53,515	65,471	55,356	48,933
外部再利用率	30,209	30,094	31,334	38,584	32,010	26,951
外部熱回収	2,610	3,212	3,617	3,223	4,436	2,586
単体再生利用率 (%)	52.5	39.4	39.3	46.0	43.3	39.3

(住友化学および国内グループ会社)

(トン)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
排出量	368,837	364,614	377,062	446,397	405,298	297,476
内部再利用率	24,832	36,485	33,711	49,003	16,922	8,989
内部熱回収	0	0	0	0	27,032	21,457
処理委託量	244,450	231,563	247,908	276,071	232,013	156,995
外部再利用率	194,098	189,338	195,737	213,309	173,416	101,867
外部熱回収	0	0	0	0	9,903	6,423
国内再生利用率 (%)	59.4	61.9	60.9	58.8	56.1	46.6

※1 廃棄物再生利用率：内部・外部再利用率＋内部・外部熱回収量  
廃棄物再生利用率：(内部・外部再利用率＋内部・外部熱回収量)／排出量

### ■ 廃プラスチック全体の再生利用化の実績<sup>※2</sup>

(住友化学)

(トン)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
排出量	5,495	4,881	5,295	5,933	5,407	4,421
内部再利用率	0	0	0	0	0	0
内部熱回収	160	150	273	437	321	330
処理委託量	4,235	3,983	4,184	4,788	4,449	3,562
外部再利用率	3,130	2,918	2,923	3,473	3,317	2,560
外部熱回収	99	82	47	110	270	211
単体再生利用率 (%)	61.7	64.5	61.2	67.8	72.3	70.1

(住友化学および国内グループ会社)

(トン)

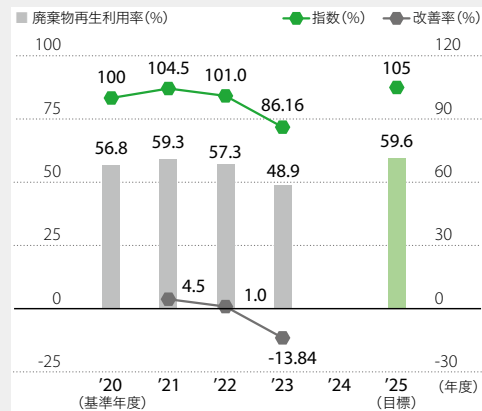
	2020	2021	2022	2023
排出量	8,386	9,856	9,415	8,280
内部再利用率	37	35	0	0
内部熱回収	273	437	321	330
処理委託量	7,203	8,644	8,458	7,421
外部再利用率	4,502	5,296	5,569	4,810
外部熱回収	464	622	688	587
国内再生利用率 (%)	62.9	64.8	69.9	69.2

※2 プラスチック再生利用率：内部・外部再利用率＋内部・外部熱回収量  
プラスチック再生利用率：(内部・外部再利用率＋内部・外部熱回収量)／排出量



## 環境保全管理目標の共有化 (国内)

### ■ 廃棄物再生利用率\*1 (2020=100)



#### 廃棄物再生利用率の改善

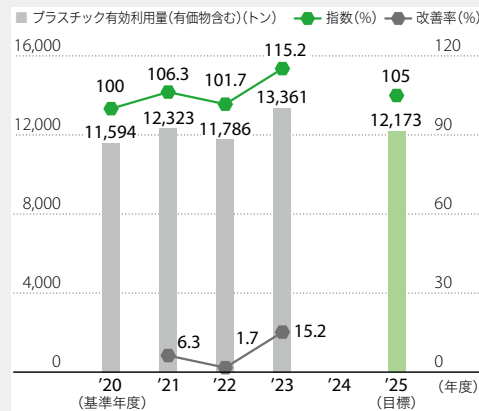
目標

2025年度までに、2020年度比5%以上の改善

実績

2023年度は2020年度比13.8%悪化

### ■ プラスチック有効利用量 (有価物含む)\*2 (2020=100)



#### プラスチック有効利用量の改善

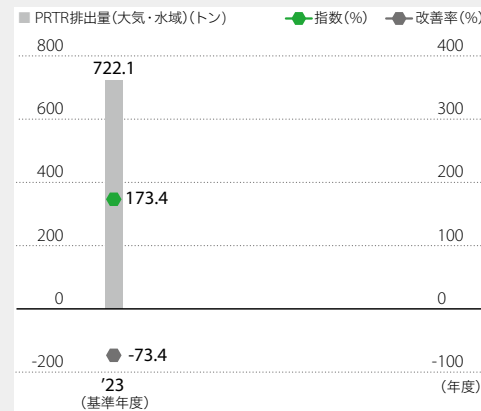
目標

2025年度までに、2020年度比5%以上の改善

実績

2023年度は2020年度比15.2%改善

### ■ PRTR対象物質排出量 (大気・水域)・同指数 (2023=100)



#### PRTR対象物質排出量の削減

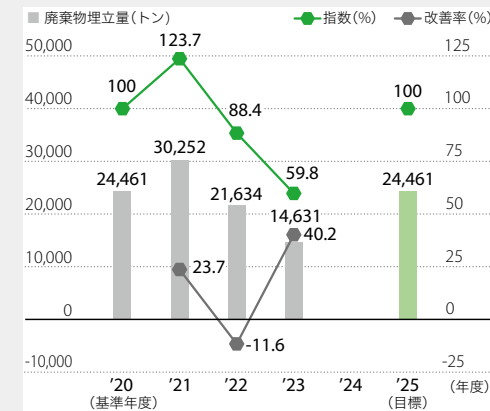
目標

2023年度の排出量以下の水準を維持※3

実績

—

### ■ 廃棄物埋立量・同指数 (2020=100)



#### 廃棄物埋立量の削減

目標

2020年度の廃棄物埋立量以下の水準を維持

実績

2023年度は2020年度比40.2%削減し、目標を達成

※1 廃棄物再生利用率：(内部・外部再利用量+内部・外部熱回収量)/排出量 × 100

※2 プラスチック有効利用量 (有価物含む)=有価物量+(内部再利用・再使用量+内部熱回収量)+(外部再利用・再使用量+外部熱回収量)

※3 2023年4月1日の法改正(対象物質数が354→462に拡大)対応のため、2023年度以降は新たに目標を定める

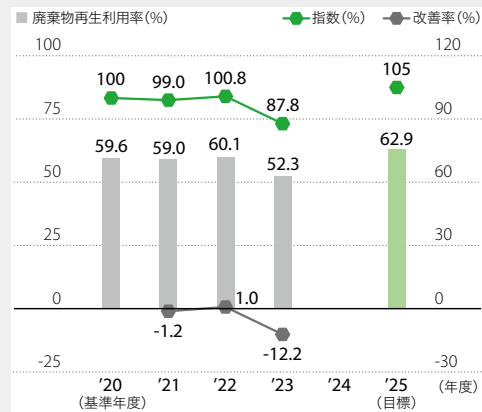
(注) 集計対象は、住友化学および国内グループ会社の以下17社

住化加工紙株式会社、住化カラー株式会社、住化プラスチック株式会社、日本エイアンドエル株式会社、朝日化学工業株式会社、株式会社セラテック、サンテラ株式会社、住化アグロ製造株式会社、住化アッセンブリーテクノ株式会社、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、住化農業資材株式会社、日本メジフィジックス株式会社、住友共同電力株式会社、エスエヌ化成株式会社、住化ポリカーボネート株式会社、株式会社サンリッツ、住化宏和テック株式会社



## 環境保全管理目標の共有化(海外)

### ■ 廃棄物再生利用率<sup>※1</sup> (2020=100)

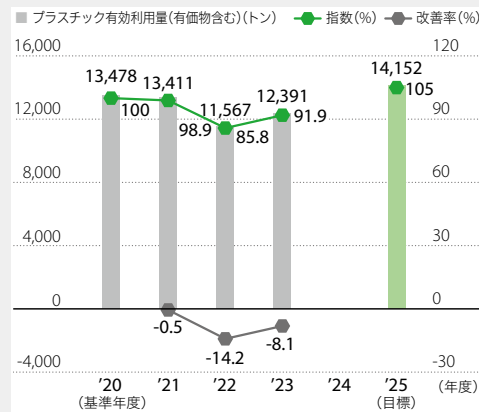


#### 廃棄物再生利用率の改善

**目標** 2025年度までに、2020年度比5%以上の改善

**実績** 2023年度は2020年度比12.2%悪化

### ■ プラスチック有効利用量(有価物含む)<sup>※2</sup> (2020=100)

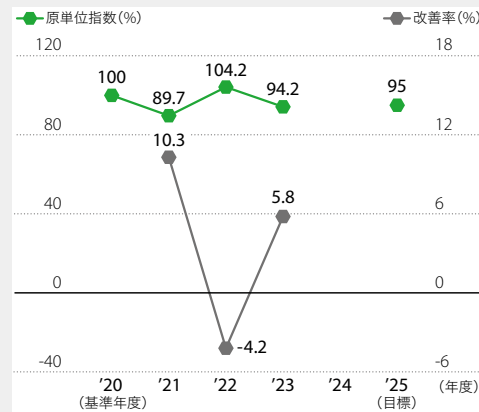


#### プラスチック有効利用量の改善

**目標** 2025年度までに、2020年度比5%以上の改善

**実績** 2023年度は2020年度比8.1%悪化

### ■ 水使用原単位指数 (2020=100)



#### 水使用原単位指数の改善

**目標** 年平均1%以上の水使用原単位を改善

**実績** 2023年度は2020年度比5.8%改善し、目標を達成

※1 廃棄物再生利用率：(内部・外部再利用量+内部・外部熱回収量)/排出量 × 100

※2 プラスチック有効利用量(有価物含む)=有価物量+(内部再利用・再使用量+内部熱回収量)+(外部再利用・再使用量+外部熱回収量)

(注) 集計対象は、海外グループ会社の以下29社

- シンガポール
  - ・The Polyolefin Company (Singapore) Pte.Ltd.
  - ・Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd (MMA&S-SBR)
- タイ
  - ・Bara Chemical Co., Ltd.
  - ・Sumika Polymer Compounds (Thailand) Co., Ltd.
- ベトナム
  - ・Sumika Electronic Materials Vietnam Co., Ltd.
- 中国
  - ・Dalian Sumika Chemphy Chemical Co., Ltd.
  - ・Sumika Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd.
  - ・Sumika Electronic Materials (Hefei) Co., Ltd.
  - ・Sumika Huabei Electronic Materials (Beijing) Co., Ltd.
  - ・Sumika Electronic Materials (Xi'an) Co., Ltd.
  - ・Zhuhai Sumika Polymer Compounds Co., Ltd.
  - ・Dalian Sumika Jingang Chemicals Co., Ltd.
  - ・Sumika Electronic Materials (Changzhou) Co., Ltd.
  - ・Xuyou Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd.
  - ・Sumika Electronic Materials (Chongqing) Co., Ltd.
- 台湾
  - ・Sumika Technology Co., Ltd.
  - ・Sumipex Techsheet Co., Ltd.

- インド
  - ・Sumika Polymer Compounds India Co., Ltd.
- 韓国
  - ・Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd.
  - ・SSLM Co., Ltd.
- オーストラリア
  - ・Botanical Resources Australia Manufacturing Services Pty Ltd.
  - ・Botanical Resources Australia Agricultural Services Pty Ltd.
- 米国
  - ・Sumitomo Chemical Advanced Technologies LLC
  - ・McLaughlin Gormley King Company
  - ・Valent BioSciences LLC
  - ・Sumika Polymer North America LLC
- 英国
  - ・Sumika Polymer Compounds UK Co., Ltd.
- トルコ
  - ・Sumika Polymer Compounds Turkey Co., Ltd.
- フランス
  - ・Sumika Polymer Compounds France Co., Ltd.



## 環境マネジメントシステム

1997～2001年にかけて、全工場でISO14001(1996年版)の認証取得を完了しました。

その後、取得した認証が途切れることがないように、継続して移行審査を受審し、新規格での認証登録をしています。

### ■ ISO14001 認証取得状況

#### 1. 住友化学 (取得率は100%)

工場名	登録番号	有効期限
愛媛工場(大江工場を含む)	JCQA-E-0018	2025年 4月12日
千葉工場(サイオクス 千葉事業所を含む)	(KHK-)97ER・004	2027年 6月25日
大阪工場	JQA-E-90072	2024年11月27日
大分工場(岐阜プラント)	JCQA-E-0206	2024年12月24日
大分工場(岡山プラント)	JCQA-E-0218	2025年 1月21日
大分工場	JQA-E-90152	2025年 3月30日
三沢工場	JQA-EM0355	2025年12月12日
茨城工場	EC15J0024	2027年 3月24日

#### 2. 国内グループ会社

会社名	登録番号	有効期限
住化加工紙株式会社	JCQA-E-0532	2025年 1月12日
日本エイアンドエル株式会社(愛媛工場)	ISO14001-0076790	2025年 1月 3日
日本エイアンドエル株式会社(千葉工場)	(KHK-)97ER・004	2027年 6月25日
朝日化学工業株式会社	JUSE-EG-717	2027年 2月26日
株式会社セラテック	JCQA-E-0018	2025年 4月12日
住化アッセンブリーテクノ株式会社	JCQA-E-0018	2025年 4月12日
住化アグロ製造株式会社(愛媛肥料工場)	JCQA-E-0018	2025年 4月12日
住化アグロ製造株式会社(その他工場)	13ER・925	2027年 8月 5日
広栄化学株式会社	JCQA-E-0969	2026年 3月11日
田岡化学工業株式会社(愛媛工場)	JCQA-E-0018	2025年 4月12日
田岡化学工業株式会社(淀川工場)	JQA-EM3938	2024年11月27日
株式会社田中化学研究所	4526844	2026年 7月25日
住友ファーマ株式会社(鈴鹿工場)	00ER-094	2024年12月21日
住友ファーマ株式会社(大分工場)	JQA-E-90152	2025年 3月30日
住化ポリカーボネート株式会社	JCQA-E-0436	2026年12月23日
株式会社サンリッツ	JMAQA-E105	2027年 4月26日
住化宏和テック株式会社	EMS 601582	2025年12月26日



## 3. 海外グループ会社

会社名	登録番号	有効期限
Bara Chemical Co., Ltd.	24120907002	2027年 8月 29日
SSLM Co., Ltd.	EAC-0617801	2027年 5月 7日
Sumitomo Chemical India Private Limited (Tarapur plant)	IND.23.5072/IM/U	2026年 4月 2日
Sumitomo Chemical India Private Limited (Vapi plant)	EMS 740097	2027年 3月 9日
Sumitomo Chemical India Private Limited (Bhavnaga Plant)	99 104 00704/02	2024年10月10日
Sumitomo Chemical India Private Limited (Gajod Plant)	99 104 00704/03	2024年10月10日
Sumitomo Chemical India Private Limited (Silvassa Plant)	99 104 00704/04	2027年5月13日
Sumitomo Chemical Advanced Technologies LLC	43631-2008-AE-USA-ANAB	2026年 6月 2日
Sumika Technology Co., Ltd.	EMS 89814	2024年12月26日
Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd. (Pyeongtaek)	EAC-06003	2024年 7月 9日
Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd. (Iksan)	KR15/02363	2026年 7月 14日
Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd. (Samki)	KR20/81826429	2025年 8月 22日
Sumika Electronic Materials (Xi'an) Co., Ltd.	CN15/10718	2024年 9月 8日
Sumika Huabei Electronic Materials (Beijing) Co., Ltd.	19919E00003ROM	2025年 1月 3日
Sumika Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd.	64188-2009-AE-RCG-RVA	2024年10月30日
Sumika Electronic Materials (Changzhou) Co., Ltd.	CN20/10228	2026年 5月 19日
XUYOU Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd.	00220E34370R0M	2026年12月24日
Sumika Electronic Materials (Chongqing) Co., Ltd.	CN15/21719	2024年12月 6日
Sumika Polymer Compounds (Thailand) Co., Ltd.	66 104 130035	2025年 9月 9日
Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd (MMA plant)	10369744	2027年 6月 30日
Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd (S-SBR plant)	SCS 102718EI	2024年 9月 8日
The Polyolefin Company (Singapore) Pte. Ltd.	SG05/00847	2026年 5月 14日
Zhuhai Sumika Polymer Compounds Co., Ltd.	CN13/30779	2025年 8月 19日
Sumika Polymer Compounds Dalian Co., Ltd.	CN14/10103	2026年 3月 25日

(注) 調査は年に1回実施しており、2024年3月31日の調査結果に基づく

## エネルギーマネジメントシステム

## ■ ISO50001 認証取得状況

工場名	登録番号	有効期限
Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd. (Pyeongtaek)	EN-0632901	2025年10月13日